

❖ お薬手帳用シールの例

このお薬を飲み始めた方に

お薬の効果が現れるまでに少し時間がかかることがあります。

この薬に限らず、薬を飲むと気持ちが悪くなる方がいらっしゃいます。この薬は飲み始めて効果が実感できる前に吐き気などの症状が現れることがあります。続けて飲むうちに症状は軽くなることが多いといわれています。自己判断で服用をやめないでください。

ただし、吐き気がひどい場合は医師に相談してください。

サプリメントに注意

「気持ちを落ち着かせる」「気分を明るくする」などの目的でサプリメントや健康食品に配合されているセイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)によって、副作用が出やすくなる可能性があります。このお薬の服用中は摂取を避けてください。

お薬を急にやめないで!

いきなり服用をやめたり、薬の量を減らしたりすると、薬がないことに対して体の準備ができていないため、頭痛、めまい、吐き気、不安、不眠などの症状が現れることがあります。

薬を中止するときは、医師の指示によって少しずつ飲む量を減らしていきます。自分で調節しないでください。

尿の出に注意

お薬の影響で尿の出が悪くなる場合があります。かなりいきまないと尿が出ないという場合は、医師に連絡して下さい。

とくに前立腺肥大などで排尿が困難な方は注意が必要です。

血圧測定の習慣を

定期的に血圧や脈拍を測定するようにしましょう。血圧が高くなったり、動悸を感じたら医師に伝えてください。

こんな症状に注意

お薬を飲み始めたときや量が増えたとき、不安やイライラを感じたり、不眠が強くなったり、気持ちが高ぶるなど、なにかが違うと感じたら医師または薬剤師にご相談ください。

糖尿病性神経障害の方に①

お薬が血糖値などに影響することもあります。副作用に早めに気づくためにも、定期的に血糖値のチェックを。糖尿病の治療はしっかり続けましょう。

副作用を早く発見するために

まれに、発熱、発汗、ふるえ、脈が速くなる、下痢、不安、イライラなどが現れることがあります。

お薬を飲み始めたときや量が増えたとき、SSRIと呼ばれる抗うつ薬や炭酸リチウムなどを一緒に飲んでいるときに起きやすくなります。このような症状が現れたときは、医師または薬剤師にご相談ください。

糖尿病性神経障害の方に②

この薬は痛いときにだけ飲む薬ではありません。継続して飲むことで鎮痛効果が現れます。痛みが治まっても、医師の指示通りに服用しましょう。